

秦野市立 桜土手古墳展示館 だより



SAKURADOTE Archaeological Museum

2011年 春号

平成 23 年度 展示・行事予定 - ご来館をお待ちしています!!

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春の特別展			常設展			秋の特別展		常設展			

地下  
プロ  
ム  
ナ  
ド



秦野木綿

秦野市内の遺跡の出土品展示と原始・古代の墓制について紹介しています。



予 定  
「平沢遺跡について」(仮題)  
期 間  
10月15日(土)  
~11月27日(日)



秦野市内の遺跡の出土品展示と原始・古代の墓制について紹介しています。

「遺跡・遺物が語る 秦野の歴史2011」 4/2(土)~6/26(日)

小学校 6 年生の社会科教科書に沿って、縄文時代から現代までの考古、民俗資料等を展示します。近世・近現代は、「秦野の産業」をテーマとし、葉たばこや秦野木綿を紹介しています。昔の人々が作った“ホンモノ”の縄文土器や秦野木綿を見ながら、秦野の歴史の勉強ができます。

一  
階  
展  
示  
室

常 設 展 桜土手古墳群から出土した装飾品や土器等を中心に桜土手古墳群と古墳時代に基づいた展示を行っています。展示資料を見ながら、窓からは保存古墳(6基)・復原古墳のぞめます。又映像室ではアニメ調のビデオも楽しめます。



ミュージアムさくら塾

今年も専門家をお招きして講演会を4回開催します。

場 所 桜土手古墳展示館

時 間 10:00~正午

定 員 70名申込み等は広報はだのをごらんください。

國學院大學教授  
小川直之氏

オススメの講師陣(題名はすべて仮題です。)

<第1時限目> 6月25日(土)

「秦野の寺社建築とその見方」

東京工芸大学名誉教授 清水擴氏

<第2時限目> 11月12日(土)

「縄文・弥生時代の平沢遺跡」

玉川文化財研究所 戸田哲也氏

<第3時限目> 1月中旬

「河村城について」日本考古学協会会員 安藤文一氏

<第4時限目> 2月中旬

「大山信仰について」國學院大學教授 小川直之氏

ミュージアムさくら塾番外編

6月4日(土)

「秦野の自由民権運動について」市史資料室 榎田和幸

ミュージアムさくら工房「まが玉屋」

古代人のアクセサリ-を作ってみよう!!

\* 8/3(水)~8/4(木) 「こどもまが玉屋」

小学4年生~中学生対象

\* 8/5(金) 「親子まが玉屋」

小学3年生~6年生と保護者

\* 一日の定員 18名

\* 参加費 500円位/1人

\* 7月15日以降電話申し込み(先着順)詳細は7月15日号の広報はだのをごらんください。



ミュージアムさくら工房「土の器屋」

本物を参考に縄文土器を作ってみよう!!

\* 7/30(土)成形、8月末焼成

小学5年生~中学生対象

\* 定員 10名

\* 参加費 300円位/1人

\* 7月1日以降電話申し込み

(先着順)詳細は7月1日号の広報はだのをごらんください。





## 秦野の原始・古代の遺跡巡り 先土器時代編

秦野地域にはおよそ2万年前から人々の生活が営まれてきました。「先土器時代」とも「旧石器時代」とも言われるこの時代、人々は狩猟や木の実などの採集をして生活をしていたと考えられています。

先土器時代は富士山や箱根の火山が活発に活動していた時期であり、火山灰が堆積した「関東ローム層」と呼ばれる赤土の中に遺物が含まれています。

秦野周辺は富士・箱根のすぐ東側にあたるため火山灰の堆積が厚く、遺跡・遺物の発見を困難にしています。このため、南地区の太岳院遺跡（尾尻）や渋沢地区の堂坂遺跡、鶴巻地区の不弓引遺跡など、数例が知られているに過ぎませんが、背後に丹沢の山々をひかえ、水にも恵まれた秦野市域は、狩猟対象となる動物や、木の実を結ぶ樹木が豊富であり、当時の人々にとっても住みよい場所であったと考えられます。

平成4年に秦野駅南部土地区画整理事業によって発掘調査が行なわれた太岳院遺跡からは小型のナイフ形石器が集中して検出されたほか、調理施設と思われる「礫群（れきぐん）」も発見されました。

当時は木や動物の骨で作られた道具も多く存在したと考えられますが、長い年月の間に腐蝕して失われてしまい、石の道具だけが出土しています。その石の材質を見ると、北日本や中部日本に原産地を持つ頁岩<sup>けつがん</sup>や黒曜石が使われており、すでに東日本規模での物の動きがあったことに驚かされます。

先土器時代は縄文時代以降に比べ、遺構の検出例が少なく、その生活の様子は不明な点が多かったのですが、相模原市田名向原4遺跡では、従来検出が困難といわれていた住居の跡が発見されるなど、ここ15年ほどの間に着実に新たな知見が増えてきています。そういう意味では、これからの研究の進展が最も期待される時代といえるでしょう。

今から約1万6千年前に、日本列島に住む人々は土をこねて焼いた器 土器を作るようになり、ほぼ同時に犬をパートナーとして弓矢で狩猟を行なうことを始めました。特に土器の発明は、煮炊きすることにより、あく抜き、殺菌の効果を食品にもたらし、これまで食べられなかったものを衛生的に食べられるようにしました。この、土器の発明をもって「先土器時代」と後に続く「縄文時代」の画期とするのが一般的です。

\* 頁岩（けつがん）堆積岩の一。泥が固結した岩石のうち、薄くはげる性質のあるもの。

（次回は縄文時代についてです。）



展示中の今泉太岳院遺跡・渋沢堂坂遺跡から出土の石器

### <桜土手古墳展示館へのアクセス>

小田急線秦野駅北口より徒歩20分

バス秦12 秦野駅行「古墳公園前」下車 徒歩2分

バス秦08 「桜土手」下車 徒歩10分

小田急線秦野駅北口よりバス秦12 渋沢駅北口行「古墳公園前」下車 徒歩2分

バス秦08 「桜土手」下車 徒歩10分

入館無料 開館時間午前9時～午後5時（月曜休館） 駐車場有

### 桜土手古墳展示館だより .39号

発行日 平成23年5月20日 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

URL <http://navi.cityhadano.kanagawa.jp/s-gakusyu/bunkazai>

